

「令和8年度 横浜 MICE ビジネス講座に係る運営業務」
公募型プロポーザル 特定結果

令和8年度 横浜 MICE ビジネス講座に係る運営業務について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定しました。

1 件名

令和8年度 横浜 MICE ビジネス講座に係る運営業務

2 主な委託内容

MICE ビジネスセミナー・基礎編・実践編のプログラム内容企画及び運営

- (1) プログラムの企画
- (2) 講師の手配
- (3) 講座運営全般におけるサステイナブルな配慮
- (4) 会場の手配
- (5) 広報ツールの作成・関連資料の作成
- (6) 当日運営業務
- (7) 事業効果測定手法および分析
- (8) 報告書の作成

3 受託候補者

株式会社プリプレス・センター

〒111-0053 台東区浅草橋1丁目2-8 マルイチビル 6F

4 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社プリプレス・センター	382	1
日本コンベンションサービス株式会社	365	2

5 評価基準・評価委員会開催概要

○評価基準

別紙参照

○委員会開催日時及び開催場所

令和8年3月18日(水) 13時30分から16時30分

ワークピア横浜 201

評価項目	業務説明資料での記載箇所	評価の視点	配点
1 基本方針			
基本方針	3. 目的	本事業の目的を十分に理解した上で、 ・講座全体（セミナー／基礎編／実践編）の位置づけ・段階的な人材育成の考え方が具体的かつ一貫性をもって示されているか。	5
5			
2 プログラムの企画力			
(1)横浜MICEビジネス講座 セミナー			
プログラム内容	4. 業務概要 (1)	以下に配慮した内容となっており、目的を達成するために効果的なプログラムが提案されているか セミナータイトルについて、事業者の関心を引くものが提案されているか。 (7) M/J/C/Eの各領域における特性についての内容を含められているか。 (4) 当該回が実施したMICE関連の各種調査結果やMICE開催地としての横浜の現状を踏まえつつ、MICEに取り組み意義やメリット等を含められているか。 (9) コンベンションの誘致～開催までの一連の流れや地域への開催効果、及びビジネス機会を紹介するような内容か。 (1) コンベンションにおける最新動向を反映した内容を取り入れているか。 (4) コンベンションにおける持続可能な取り組みの最新事例を紹介し、各事業者の状況に応じた取り組みの考え方や、その効果・メリットについて理解を深められるような内容か。 (8) 参加事業者が「サステナビリティを“自分事”と考える契機になるような仕掛けを行えているか。 (4) 参加事業者同士のネットワークづくりにつながる内容を含められているか。	15
(2)横浜MICEビジネス講座 基礎編			
15			
①プログラム内容 (基礎編／基礎の習得、参加意欲向上の工夫)	4. 業務概要 (2)	以下に配慮した内容となっており、目的を達成するために効果的なプログラムが提案されているか (7) 国内/国際コンベンションの視察または現場を体感できる内容を含められているか。 (4) MICEとサステナビリティの関連およびビジネス機会についての理解促進を促す内容を含められているか。 (9) 参加事業者同士のネットワークづくりにつながる内容を含められているか。 (1) 講義内容に関連する体験を取り入れるなど、参加者の受講意欲を高める工夫を取り入れられているか。	10
②テーマと構成／講師の選定	5. 業務概要 (2)	・開催趣旨、参加対象者を理解した上で、MICEへの新規参画を促すようなテーマ設定がされているか ・プログラム内容を理解するために適切な当日の構成(所要時間)になっているか ・企画内容にふさわしい講師が選定されているか	10
20			
(3)横浜MICEビジネス講座 実践編			
①プログラム内容 (提案力、受入れ対応力強化、参加意欲向上の工夫)	5. 業務概要 (1) ウ	プログラムの最終目的とする、精度の高いコンベンション主催者向けのセールスシートが成果物として完成でき、参加者が実践的にそれを活用できるようなプログラム内容となっているか。 更に、内容について、以下要件に配慮したものとされており、国際コンベンション主催者への提案力や受け入れ対応力強化につながるプログラムが提案されているか。 (7) 第1回目は、主催者ニーズについて、事業者自線で理解できる内容となっているか。 (4) 第2回、第3回目のワークショップでは、自社の強みを整理・言語化した上で、コンベンション主催者向けのセールスシート形式を完成させるまでのプロセスや効果的な仕掛けが提案されているか。 (9) 第3回の模擬プレゼンテーション大会についての企画、またそれに向けてのワークショップ内での準備企画は含まれているか。 (1) コーヒーブレイクを取り入れる等、参加事業者同士のネットワークづくりにつながる内容を含められているか。	20
②テーマと構成／講師の選定	5. 業務概要 (2)	・開催趣旨、対象者を理解した上で、主催者ニーズへの対応力強化に繋がる実践的なテーマ設定となっているか。 ・プログラムを理解するために適切な構成(各所要時間)になっているか ・企画内容にふさわしい講師が提案されているか。	10
30			
3 サステナブルな講座運営			
実施内容	5. 業務概要 (3)	プログラム内容について、MICEとサステナビリティの関連およびビジネス機会についての理解促進を促す内容を含められているか。 講座運営全般におけるサステナブルな配慮がされているか。 (7) 省エネルギーの推進等、環境負荷低減の取り組みを行っている会場及び事業者を選定しているか。 (4) 講座に必要な物品・サービスの調達においては、環境配慮型の製品・サービスを優先的に選択しているか。 (9) 運営にあたりCO2排出量の削減努力を行っているか。	15
15			
4 運営体制			
提案内容の実現に向けた体制・スケジュール		提案内容を把握確に実施するための体制として、 ・役割分担・進行管理方法・リスク対応が具体的に示されているか。	5
5			
5 効果測定			
効果検証の手法及び内容	5. 業務概要 (7)	各講座の目的に応じて、 ・理解度・参画意欲・具体的行動 の変化が測定できる、定量・定性の両面からの効果測定手法が提案されているか。	5
5			
6 類似業務実績			
類似業務実績		類似する人材育成事業の実績があり、その経験を本事業にどのように活かすかが具体的に示されているか。	5
5			
100			
7 追加提案			
追加提案		仕様書の要件を踏まえ、本事業の効果を高める独自性・発展性のある提案が示されているか。	10
10			
総合点			110